

事務局だより

本部事務局も本年4月から3年目に入りました。常日頃、非常に多くの方々から事務局の運営のためお力添えをいただいております。この場を借りまして、皆様のご支援に心よりお礼申し上げますとともに、今後とも何卒よろしくご協力のほど、お願い申し上げます次第です。

本部関係では、事務局幹事に藤井光氏が新たに幹事として就任されました。また編集室では中野学而氏が退任され、新たに幹事として大和田俊之氏が就任されました。

ご案内のように、第55回全国大会は、10月1(土)、2日(日)にノートルダム清心女子大学で開催されます。第1日の開会式(午後1時15分より)におきましては、第7回新人賞、ならびに今年度から新設された日本アメリカ文学会賞の選考結果が発表されます。多数ご参加ください。続く研究発表では、10室に分かれて計39名の会員が発表を行います(前回54回大会は43名)。昨年度より数名減となったものの、近年発表者が30名を切った年もありましたので、今年度も40名近くの発表者となり事務局としても嬉しい悲鳴をあげております。これも各支部における日頃の地道な努力があってのことです。心より御礼申し上げます。力のこもった発表が期待されますので、皆様ふるってご参加ください。また、ご多忙のところ快く司会をお引き受けいただきました先生方にはこの場を借りましてお礼申し上げます次第です。

第2日は、午前10時15分からの総会の後、フロリダ大学名誉教授 Andrew Gordon 氏による特別講演「Art Spiegelman's *Maus*: The Holocaust as Comic Book」が予定されています。午後1時半からのシンポジウムは、「大統領選挙とアメリカ文学」(中部支部発題)、「アメリカ文学史を語る——正典戦争後の再考と実践」(中・四国支部発題)の2つが企画されています。どちらも刺激的な視点から新たにアメリカ文学を捉えようとする意欲的な企画であり、フロアからの質疑も交え、活発な議論が展開されるものと期待しております。午前と午後の間に挟まる形で開催されますワークショップでは、アメリカ文学・授業方法研究会の「英語の教室におけるアメリカ音楽」およびアイリッシュ・アメリカン研究会の「アイリッシュ・アメリカンの世界」が企画されています。シンポジウムもワークショップも、素晴らしい企画が揃っておりますので、是非ご参加いただきますようお願い申し上げます。

第1日目の午後6時30分より、岡山ロイヤルホテルで懇親会が開かれます。会員同士が交流する貴重な場として、懇親会には毎年多数のご参加をいただいております。この準備のためには、あらかじめ参加者の人数を把握しておく必要がありますので、参加ご希望の際には「会報 ALSJ」に添えられています予約用のハガキ(要切手)にご記入の上、期日(9月20日)までに郵送していただきますようお願い申し上げます。

毎年の全国大会の重要な企画の一つに、賛助会員である書店・出版社による書籍展示があります。研究

書・資料の最近の出版動向を知るだけでなく、賛助会員と一般会員とが交流を行う貴重な場として、書籍展示場に多くの方にお立ち寄り頂きたいと思っております。

第55回大会準備でご尽力いただいております中・四国支部、並びに開催校であるノートルダム清心女子大学の運営委員の先生方には、ひとかたならぬお世話になり、改めましてお礼を申し上げます。今回の全国大会が有意義で盛況となりますことをお祈りいたします。また昨年度は、関西支部および開催校の京都大学の大会運営委員の先生方をはじめ多くの関係者の方々のご尽力により、盛会のうちに全国大会を無事終えることができました。この場を借りまして皆様に心よりお礼申し上げます。

来年の全国大会は九州支部のお力を得て、鹿児島大学を会場として10月14(土)、15日(日)に開催される予定です。今年と日程が異なりますので、会員の皆様にはご留意いただきますようお願い申し上げます。

「会報 ALSJ」第54号をお届けしています。今年は「本部会員名簿」の年に当たります。個人情報保護にも留意しつつ、迅速に対応いただきました各支部の事務局の先生方に御礼申し上げます。また「会報 ALSJ」の「本部構成」「支部構成」では、今年度の役員の方や支部活動が紹介されています。「支部の頁」は、各支部事務局からいただきました原稿を掲載していますが、各支部の活動状況の詳細を窺い知ることができる貴重な記録となっています。今後とも各支部のご協力をお願いいたします。

「会報 ALSJ」を、毎年8月末に発行できるのは、ひとえに京都の山口書店編集部の皆様、とりわけ竹村春美氏のご尽力によるものです。大会プログラム、研究発表やシンポジウムのレジュメ原稿、会員名簿の整理から、丁寧な校正にいたるまで、毎年細やかなお心配りをいただき、頭の下がる思いです。ここに心より感謝申し上げます次第です。

事務局からのお願い：住所・勤務先変更、入会申し込み、会費の納入などの手続きに関しましては、本部事務局ではなく各「支部事務局」へご連絡いただくようお願いいたします。ただし、「東京支部」では「毎日学術フォーラム」に事務手続きを委託していますので、「東京支部ホームページ」の「入会案内」をご参照のうえ、「毎日学術フォーラム 日本アメリカ文学会東京支部会員係」にご連絡ください。また、ご著書をご惠贈いただく場合は、本部事務局ではなく「資料室」へご送付のほど、よろしくようお願い申し上げます。学会 HP：日本アメリカ文学会 HP を昨年度、刷新いたしました。会員の皆様の情報交換の場として充実させていきたい所存です。これまで掲載ができなかった各種講演会等のお知らせも掲載することができます。HP トップの「掲載のお知らせ」よりお申し込み下さい。会員のみなさまから資料室宛にご惠贈いただきました御著書も随時掲載しております。ご覧下さい。

(文責 本部事務局幹事 難波江仁美)

❦ 編集室だより ❦

* 編集委員会の構成につきましてご報告申し上げます。支部選出の委員では、北海道支部で瀬名波栄潤先生が退任されて松井美穂先生が、中・四国支部で藤江啓子先生が退任されて藤本幸伸先生が新たに就任されました。代議員会選出の委員では、詩部門で長畑明利先生が退任されて飯野友幸先生が、演劇部門で舌津智之先生が退任されて貴志雅之先生が、近代小説部門で西谷拓哉先生が退任されて西山けい子先生が、現代小説部門で上西哲雄先生、諏訪部浩一先生、グレッグ・ベヴァン先生、ラファエル・ランベール先生が退任されて新田啓子先生、鶴殿えりか先生、メアリ・A・ナイトン先生、タラス・A・サック先生が新たに就任されました。これまでご尽力いただきました先生方に改めて感謝申し上げます。また、去る5月28日に京都大学で開催された書評会議で、2016年度編集委員長に後藤和彦先生が選出されました。

* 書評会議では、2015年に出版されたアメリカ文学関連研究書19点について検討し、11点を次号機関誌の「書評」欄で、6点を「短評」欄で取り上げることになりました。書評執筆依頼をご快諾くださいました先生方に御礼申し上げます。また日文号の「書評」欄で取り上げた研究書については、英文による内容紹介を編著者の方々に執筆いただいで英文号に掲載することとなっています。すでに依頼のメールをお送りしていると存じますが、どうぞよろしくお願いたします。

* 本年度より、書評に取り上げることとなった書籍のうち、著者がアメリカ文学の分野において初めて出版する著作を対象に選考を行い、日本アメリカ文学会賞を授与することとなりました。第1回日本アメリカ文学会賞結果は全国大会および次号の和文号にて発表いたします。

* 本学会機関誌への投稿論文は4月30日に締め切れ、24篇の応募がありました。ご投稿くださいました皆様に厚く御礼申し上げます。6月18日に立教大学で開催された編集会議で委員全員による討議を重ねた結果、日文号に3篇、英文号に5篇が、それぞれ採用されることとなりました。以下、順不同敬称略で採用論文執筆者のお名前、所属支部、論文題名をお知らせいたします。

【日文号論文 3篇】

森 本 光 (関西支部) Poe の黒い道化芝居——“Never Bet the Devil Your Head” と ミンストレル・ショウ
 山 本 裕 子 (関西支部) 「失われた世代」の戦争神話——Faulkner, *Soldiers' Pay*, 戦後印刷文化
 竹 内 理 矢 (東京支部) 『響きと怒り』, 『聖家族』の崩壊——近代と女性

【英文号論文 5篇】

玉 井 潤 野 (関西支部) The Voice of the Void: A Critical Reading of *Gravity's Rainbow*
 志 賀 俊 介 (東京支部) The Imaginary Space in Indian-American Fiction: A Catalyst for Rebellion in Jhumpa Lahiri's *The Lowland*
 田ノ口 正 悟 (東京支部) A Dead Author to Be Resurrected: The Ambiguity of American Democracy in Herman Melville's *Pierre*
 日野原 慶 (東京支部) Dwelling in *Déjà Vu*: Anti-Apocalypticism of *White Noise*
 石 川 千 曉 (東京支部) Her Self in the Making: Female Promiscuity in Wallace Thurman's *The Blacker the Berry*

* 上記採用論文のうち、著者が新人賞受賞資格を持つ論文についてさらに選考を行いました。その結果、以下の論文が新人賞の受賞作となりました。

田ノ口 正 悟 (東京支部) A Dead Author to Be Resurrected: The Ambiguity of American Democracy in Herman Melville's *Pierre*

* 当学会では新人賞創設にともない、2010年度より投稿規定が改定されました。投稿の際には改訂後の投稿規定を遵守くださいますようお願いいたします。図版等の掲載につきましては、著作権の申請作業およびその費用を執筆者にご負担いただきますので、よろしくご承知おきください。投稿規定に準拠しない注・文献形式などの論文、また体裁な

どに不備がある論文（次号より2016年出版の *MLA Handbook* 第8版を参照のこと）は、編集委員の査読にあたり不利な印象を与えます。著しい場合には、審査の対象から外れる場合もありますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- * 昨年度をもちまして、国立情報学研究所が提供してきた CiNii の論文オンライン化事業が終了しました。これを受け、他のレポジトリ・データベースとして EBSCOhost にて今秋より論文を公開予定です。また、CiNii の後継である、科学技術振興機構が運営する J-STAGE への和文号と英文号の登載が採択されました。J-STAGE 上での論文の公開を開始する時期は現段階では未定ですが、次号の発行に合わせて2017年3月を第一希望として申請中です。
- * 最新号掲載論文は「日本アメリカ文学学会著作権ポリシー」に従い、「当学会の定めた猶予期間（1年）」を経過しましたら順次、オンライン公開予定です。論文の著者が公開されている論文を転載、または論文へのリンクを張る場合、「日本アメリカ文学学会著作権ポリシー」に定めている規則に従って下さい。掲載論文を閲覧する際の URL は学会ホームページでご確認下さい。
- * これまで編集室幹事としてご尽力くださった中野学而氏（中央大学）が、昨年度をもって退任されました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。なお、昨年10月の代議員会において新編集室幹事として大和田俊之（慶應義塾大学）が承認されました。これからも当学会機関誌の刊行に尽力して参りますので、何卒よろしくようお願い申し上げます。
(編集室幹事 常山菜穂子, 有光道生, 大和田俊之)

『アメリカ文学研究』, *The Journal of the American Literature Society of Japan*

投 稿 規 定

1. 送付物

a) 論文 5部

- i) 内容：アメリカ文学に関する未発表の研究論文（日本語または英文）。
- ii) 枚数：日本語の場合はA4判400字詰横書き原稿用紙に35枚以内（後注、文献一覧を含む）。ワープロを使用する場合は、A4判用紙に横書きで30字×30行とし、16枚以内。英文の場合は“Call for Submissions”を参照のこと。
- iii) 体裁：注は後注（Endnotes）とし、本文の終わりにまとめ、引用文献一覧（Works Cited）を付すこと。引用、後注、引用文献一覧の体裁は *MLA Handbook*, 8th ed. (2016) の“MLA style”による。匿名審査をおこなうので、5部のうち1部にのみ、論文表題と投稿者氏名を記した表紙を付し、すでに口頭発表した旨の注記や謝辞なども表紙に記載すること。他の4部は表紙を付さず、第1ページは表題と本文のみとし、以降も投稿者氏名を記さないこと。

b) シノプシス 5部（論文が日本語の場合）

論文本文が日本語の場合は、必ず英文のシノプシスを付けること。本文が英文の場合は不要。書式は、英文本文の場合に準じ、“Call for Submissions”を参照。長さは500語程度とする。論文本文同様、1部にのみ氏名・表題などを記した表紙を付し、他の4部には投稿者氏名を記さないこと。

c) 略歴 1部

氏名にはふりがなを付け、生年月日、現住所（郵便番号とも）、電話番号、Eメールアドレスを明記し、学歴、職歴を簡単に記すこと。

2. 宛先 〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1

慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎448号室

日本アメリカ文学会編集室

※必ず封筒に「『アメリカ文学研究』応募原稿」と明記すること。

3. 締切 2017年4月30日必着

4. その他

- a) 投稿は会員1名につき1篇とする。非会員の投稿は受け付けない。
- b) 原稿の採否は各支部および代議員会から選出された本部編集委員が協議して決定する。採否の結果は7月末までに、本人に通知する。
- c) 提出された応募原稿は返却しない。
- d) 採用決定後、ワード文書ファイルまたはテキストファイルをEメールで編集室まで送付すること。
- e) 執筆者校正は初校のみとし、誤記、誤字の修正など、最小限にとどめること。
- f) 図版等を使用する場合は、印刷媒体と電子媒体双方での図版等使用・掲載許可を著作権者から得ていること。それにかかわる費用は執筆者の負担とする。
- g) 採用論文の執筆者には抜刷20部を贈る。
- h) 掲載論文の著作権は、日本アメリカ文学会に帰属する。論文の転載については、必ず日本アメリカ文学会編集室に照会し、転載許諾を得ること。

注記* 投稿原稿が学会などでの発表や、機関リポジトリ等で全文公開されている博士論文に基づく場合、「表紙」にその事実を明記すること。

どに不備がある論文（次号より2016年出版の *MLA Handbook* 第8版を参照のこと）は、編集委員の査読にあたり不利な印象を与えます。著しい場合には、審査の対象から外れる場合もありますので、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

- * 昨年度をもちまして、国立情報学研究所が提供してきた CiNii の論文オンライン化事業が終了しました。これを受け、他のレポジトリ・データベースとして EBSCOhost にて今秋より論文を公開予定です。また、CiNii の後継である、科学技術振興機構が運営する J-STAGE への和文号と英文号の登載が採択されました。J-STAGE 上での論文の公開を開始する時期は現段階では未定ですが、次号の発行に合わせて2017年3月を第一希望として申請中です。
- * 最新号掲載論文は「日本アメリカ文学学会著作権ポリシー」に従い、「当学会の定めた猶予期間（1年）」を経過しましたら順次、オンライン公開予定です。論文の著者が公開されている論文を転載、または論文へのリンクを張る場合、「日本アメリカ文学学会著作権ポリシー」に定めている規則に従って下さい。掲載論文を閲覧する際の URL は学会ホームページでご確認下さい。
- * これまで編集室幹事としてご尽力くださった中野学而氏（中央大学）が、昨年度をもって退任されました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。なお、昨年10月の代議員会において新編集室幹事として大和田俊之（慶應義塾大学）が承認されました。これからも当学会機関誌の刊行に尽力して参りますので、何卒よろしくようお願い申し上げます。
(編集室幹事 常山菜穂子, 有光道生, 大和田俊之)

『アメリカ文学研究』, *The Journal of the American Literature Society of Japan*
投 稿 規 定

1. 送付物

a) 論文 5部

- i) 内容：アメリカ文学に関する未発表の研究論文（日本語または英文）。
- ii) 枚数：日本語の場合はA4判400字詰横書き原稿用紙に35枚以内（後注、文献一覧を含む）。ワープロを使用する場合は、A4判用紙に横書きで30字×30行とし、16枚以内。英文の場合は“Call for Submissions”を参照のこと。
- iii) 体裁：注は後注（Endnotes）とし、本文の終わりにまとめ、引用文献一覧（Works Cited）を付すこと。引用、後注、引用文献一覧の体裁は *MLA Handbook*, 8th ed. (2016) の“MLA style”による。匿名審査をおこなうので、5部のうち1部にのみ、論文表題と投稿者氏名を記した表紙を付し、すでに口頭発表した旨の注記や謝辞なども表紙に記載すること。他の4部は表紙を付さず、第1ページは表題と本文のみとし、以降も投稿者氏名を記さないこと。

b) シノプシス 5部（論文が日本語の場合）

論文本文が日本語の場合は、必ず英文のシノプシスを付けること。本文が英文の場合は不要。書式は、英文本文の場合に準じ、“Call for Submissions”を参照。長さは500語程度とする。論文本文同様、1部にのみ氏名・表題などを記した表紙を付し、他の4部には投稿者氏名を記さないこと。

c) 略歴 1部

氏名にはふりがなを付け、生年月日、現住所（郵便番号とも）、電話番号、Eメールアドレスを明記し、学歴、職歴を簡単に記すこと。

2. 宛先 〒223-8521 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1

慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎448号室

日本アメリカ文学会編集室

※必ず封筒に「『アメリカ文学研究』応募原稿」と明記すること。

3. 締切 2017年4月30日必着

4. その他

- a) 投稿は会員1名につき1篇とする。非会員の投稿は受け付けない。
- b) 原稿の採否は各支部および代議員会から選出された本部編集委員が協議して決定する。採否の結果は7月末までに、本人に通知する。
- c) 提出された応募原稿は返却しない。
- d) 採用決定後、ワード文書ファイルまたはテキストファイルをEメールで編集室まで送付すること。
- e) 執筆者校正は初校のみとし、誤記、誤字の修正など、最小限にとどめること。
- f) 図版等を使用する場合は、印刷媒体と電子媒体双方での図版等使用・掲載許可を著作権者から得ていること。それにかかわる費用は執筆者の負担とする。
- g) 採用論文の執筆者には抜刷20部を贈る。
- h) 掲載論文の著作権は、日本アメリカ文学会に帰属する。論文の転載については、必ず日本アメリカ文学会編集室に照会し、転載許諾を得ること。

注記* 投稿原稿が学会などでの発表や、機関リポジトリ等で全文公開されている博士論文に基づく場合、「表紙」にその事実を明記すること。

Call for Submissions

ALSJ welcomes essays in English on American Literature. Only members of the American Literature Society of Japan may submit articles to its journals. A member can submit one article for each issue. Articles are restricted to unpublished work, but papers that have been delivered at conferences are eligible when that fact is noted on the cover sheet.

Authors should submit one brief curriculum vitae with the date of birth written on it and 5 copies of their manuscript. Please consult *MLA Handbook*, 8th edition (MLA style), for house style. Manuscripts in English should be typewritten, double-spaced, on one side of A4 paper of good quality. Use parenthetical references with endnotes and a list of Works Cited. The length of articles should be less than 7,000 words, including the notes and Works Cited. Also, please specify the word count at the end.

Authors are responsible for obtaining permission to reprint extracts and reproduce illustrations, and for paying any fees pertaining to such permissions. It is a condition of publication in the journal that authors grant copyright to ALSJ. The authors should ask for the permission of ALSJ to reprint or post their articles elsewhere.

Submissions must reach the Editorial Office no later than April 30, 2017 for publication in 2017-18. Authors' names will not be made known to the Editorial Board while submissions are under consideration. For this reason, names may not appear on manuscripts; instead, only one of the submitted copies should have a cover sheet with the author's name, address, and the title of the article printed on it. Authors will be notified of the Board's decisions by the end of July.

After an essay is accepted for publication, the author should submit the final draft via e-mail to the editorial office, as an attached document in either Word or "simple text" format. The contributors are allowed only first-proof correction, in which they must limit their proof-reading strictly to typographical errors, without changing or adding to what has been written.

Submissions should be sent to :

Editorial Office
The American Literature Society of Japan
Keio University, Hiyoshi Campus, Raiosha #448
4-1-1 Hiyoshi, Kohoku-ku, Yokohama, Kanagawa
Tokyo 223-8521

The deadline for next issues to be published in the spring of 2018, is April 30, 2017. The envelope should indicate it contains a submission for the journal. Papers submitted will not be returned. Each contributor will receive 20 free offprints.

日本アメリカ文学会 新人賞規定

本賞は、次世代を担う若手研究者の研究を奨励するために設ける。

1. 受賞資格
満40歳未満、または修士号取得より5年以内（投稿締切日現在）。複数の修士号を取得している場合、当該およびその周辺領域における最初の修士号取得より5年以内とする。
2. 賞金 5万円
3. 審査対象
『アメリカ文学研究』および *The Journal of the American Literature Society of Japan* に掲載が決定した論文の中で、受賞資格を満たす執筆者による論文。
4. 審査方法
各支部および代議員会から選出された本部編集委員が協議して決定する。
5. その他
 - a) 受賞論文については7月末までに論文執筆者に通知する。
 - b) 受賞者の表彰は全国大会開会式において行う。

The ALSJ Young Scholar Award for 2017

The Editorial Board will select a winner (or winners) for the ALSJ Young Scholar Award from essays accepted for publication in 『アメリカ文学研究』 or *The Journal of the American Literature Society of Japan*. Eligible authors must be under forty, or they must have obtained their first master's degree in a field related to American literature no more than 5 years prior to submission. Winners will be notified by the end of July. They will be presented with the award, along with a ¥50,000 cash prize, at the Opening Ceremony of the annual ALSJ Convention.

日本アメリカ文学会賞規定

「本賞は、当学会所属の研究者が世に問う最初の単著を対象とし、若手からヴェテランに至る幅広い層の研究を奨励顕彰するために設ける」

1. 受賞資格：年齢制限なし。現在、当学会所属の研究者であること。
2. 賞：賞状と副賞
3. 審査対象：当学会所属の研究者が前年1月1日から12月31日までに出版した、アメリカ文学に関する最初の研究（単著）を対象とする。
4. 審査方法：各支部および代議員会から選出された本部編集委員が協議して決定する。
5. その他：
 - a) 受賞者へは9月初旬に通知する
 - b) 受賞者の表彰は全国大会開会式において行う。

The ALSJ Book Prize

The Editorial Board will select a winner (or winners) for the ALSJ Book Award from our members' single-author first monographs on American literature published in the previous year (from January 1st to December 31st). There is no age limit. The recipient(s) of the prize will be notified in early September and awarded a certificate and trophy/plaque at the Opening Ceremony of the annual ALSJ Convention.

資料室だより

以下、2015年7月から2016年6月の間に、会員の皆様からご恵贈いただいた著書・編書・訳書および定期刊行物のご紹介をいたします。書籍の掲載は発行年月日順とし、価格の表示については原則として本体価格とします。また定期刊行物の掲載は、一部を除いて発行元の五十音順です。

- フェアバンクス香織『ヘミングウェイの遺作 自伝への希求と〈編纂された〉テキスト』勉誠出版, 2015.3.31, 四六判 349+7頁, ¥3,600
- フィリップ・デイヴィス(著) 勝井伸子(訳)『ある作家の生 バーナード・マラマッド伝』英宝社, 2015.4.30, 四六判 xxvii+699頁, ¥3,800
- 小野和人『生きている道 ソローの非日常空間と宇宙』金星堂, 2015.9.1, A5判 249頁, ¥2,000
- 鶴殿えりか『トニ・モリスンの小説』彩流社, 2015.9.20, 四六判 364+5頁, ¥3,800
- 梅 正行・木村茂雄・武井暁子(編著) 伊勢芳夫・木村茂雄・北島義信・武井暁子・山本 伸・杉浦清文・梅正行・小杉 世・小野俊太郎(著)『土着と近代 グローカルの大洋を行く英語圏文学』音羽書房鶴見書店, 2015.10.1, A5判 iv+362頁, ¥3,500
- 野口 肇『見えるものから見えざるものへ——フラナリー・オコナーの小説世界』文化書房博文社, 2015.10.10, A5判 202頁, ¥3,200
- Takeshi Omiya『Mark Twain and Europe』大阪教育図書, 2015.10.15, A5判 iii+417頁, ¥6,500
- 山口ヨシ子『ワーキングガールのアメリカ 大衆恋愛小説の文化学』彩流社, 2015.10.31, 四六判 188頁, ¥1,800
- ウィリアム・カーロス・ウィリアムズ(著) 富山英俊(訳)『代表的アメリカ人』みすず書房, 2016.1.25, 四六判 307頁, ¥3,800
- 渡邊克昭『楽園に死す アメリカ的想像力と〈死〉のアポリア』大阪大学出版会, 2016.1.29, A5判 xiii+494+52頁, ¥7,100
- ウィリアム・デレズウィッツ(著) 米山裕子(訳)『優秀なる羊たち 米国エリート教育の失敗に学ぶ』三省堂, 2016.2.10, 四六判 333頁, ¥2,500
- 金澤 哲(編著) 相田洋明・森 有礼・塚田幸光・田中敬子・梅垣昌子・松原陽子・山本裕子・山下 昇(著)『ウィリアム・フォークナーと老いの表象』松籟社, 2016.2.20, 四六判 265+xiv頁, ¥2,500
- 奥田暁代『大学で学ぶ英語の教科書』慶應義塾大学出版会, 2016.2.29, A5判 185頁, ¥2,000
- 藤谷聖和『フィッツジェラルドと短編小説』(龍谷叢書 XXXVI) 彩流社, 2016.2.29, A5判 295頁, ¥3,200
- 本城誠二『Crossing Borders ジャズ/ノワール/アメリカ文化』英宝社, 2016.3.4, 四六判 iv+349頁, ¥2,500
- ウェルズ恵子『アメリカを歌で知る』祥伝社, 2016.3.10,

新書版 275頁, ¥820

- サイコアナリティカル英文学会『英米文学の精神分析的考察』(第3巻) サイコアナリティカル英文学会, 2016.3.20, A5判 xii+385頁, ¥7,500
- 松本 昇・高橋 勤・君塚淳一(編)『ジョン・ブラウンの屍を越えて 南北戦争とその時代』金星堂, 2016.3.25, 四六判 ix+356頁, ¥2,700
- 竹内勝徳・高橋 勤(編)『身体と情動 アフェクトで読むアメリカン・ルネサンス』彩流社, 2016.3.31, A5判 327+xiii頁, ¥3,800
- 巽 孝之『盗まれた廃墟 ポール・ド・マンのアメリカ』彩流社, 2016.5.15, 四六判 220頁, ¥1,800
- ラルフ・ウォルドー・エマソン(著) 小田敦子・武田雅子・野田 明・藤田佳子(訳)『エマソン詩選』未来社, 2016.5.25, 四六判 246頁, ¥2,400
- 成田雅彦・西谷拓哉・高尾直知(編著)『ホーソーンの文学的遺産 ロマンズと歴史の変貌』開文社出版, 2016.5.30, A5判 xiv+462頁, ¥4,800
- 新倉俊一(編)『私の好きなエミリー・ディキンソンの詩』金星堂, 2016.6.20, 四六判 vi+256頁, ¥2,700
- 平石貴樹(編訳)『アメリカ短編ベスト10』松柏社, 2016.6.20, 四六判 vi+361頁, ¥1,800
- ゾラ・ニール・ハーストン(著) 松本 昇・西垣内磨留美(訳)『マグノリアの花 珠玉短編集』彩流社, 2016.6.30, 四六判 195頁, ¥1,800
- 下河辺美知子『モンロー・ドクトリンの半球分割 トランスナショナル時代の地政学』彩流社, 2016.6.20, 四六判 303頁, ¥2,800
- 石原 剛『マーク・トウェイン 人生の羅針盤——弱さを引き受ける勇気』(NHK カルチャーラジオ「文学の世界」テキスト) NHK 出版, 2016.7.1, A5判 176頁, ¥905
- アジア系アメリカ文学研究会『AALA Journal』No.21 (2015.12.31) (特集: 環境とアジア系アメリカ文学——ジェンダー, エスニシティの視点から)
- 京都大学大学院人間・環境学研究科英語部会『英文学評論』第LXXXVIII集 (2016.2.28)
- 慶應義塾大学外国語教育研究センター『慶應義塾外国語教育研究』第12号 (2016.3.31)
- 慶應義塾大学大学院文学研究科英米文学専攻『コロキア』同人『Colloquia』第36号 (2015.11.18)
- 新英米文学会『NEW PERSPECTIVE』No.201 Spring/Summer 2015 (特集: エミリー・ディキンソン) (2015.7.15)
- 日本アメリカ学会『アメリカ研究』50号 (特集: 占拠・占領・支配) (2016.3.25)
- 『The Japanese Journal of AMERICAN STUDIES』No.26 (特集: Family) (2015.6.30)
- 『The Japanese Journal of AMERICAN STUDIES』No.27 (特集: Japan and the United States) (2016.6.

- 30)
 『アメリカ学会会報』 No.188 (2015.7.30)
 『アメリカ学会会報』 No.189 (2015.11.25)
 『アメリカ学会会報』 No.190 (2016.4.15)
 日本アメリカ文学会『アメリカ文学研究』第52号 (2016.3.31)
 『The Journal of the American Literature Society of Japan』 No.14 (2016)
 日本アメリカ文学会北海道支部『北海道アメリカ文学』第32号 (2016.3.31)
 日本アメリカ文学会東京支部『アメリカ文学』第77号 (2016.6.30)
 日本アメリカ文学会中部支部『中部アメリカ文学』第19号 (2016.3)
 日本アメリカ文学会関西支部『関西アメリカ文学』第52号 (2015.10.30)
 中・四国アメリカ文学会『中・四国アメリカ学会会報』 No.55 (2016.6.1)
 九州アメリカ文学会『九州アメリカ文学』 No.56 (2015.12.8)
 日本シェイクスピア協会『Shakespeare Journal』 Vol.2 (2016.3.15) (特集:シェイクスピアと同時代の劇作家たち)
 日本ソロー学会『ヘンリー・ソロー研究論集』第41号 (2015.9.30)
 『命の泉を求めて 日本ソロー学会50年の歩み』(創立50周年記念特別号) (2015.10.22)
 日本マーク・トウェイン協会『マーク・トウェイン 研究と批評』第15号 (特集:トウェインと西部) (2016.4.30)
 『NEWSLETTER』 (No.40) (2016.5)
 日本ポー学会『ポー研究』第7号 (2015.3.31)
 『NEWSLETTER』 No.12 (2015.9.9)
 立教大学アメリカ研究所『RIKKYO American Studies』 No.38 (特集:ベトナム戦争の「現在」) (2016.3.31)
 OLR 同人会『Osaka Literary Review』 No.54 (2016.1.31)

以上、遺漏の無いよう万全を期したつもりですが、何か不備な点がございましたらご連絡いただければと存じます。また会員の方でアメリカ文学に関する研究書を上梓された場合、ご事情の許す限り、資料室と編集室宛てに一部ずつご寄贈いただきますようお願いいたします。資料室の所在地は以下の通りです。

2017年3月末日まで

☎448-8542

愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学外国語教育講座尾崎研究室内

日本アメリカ文学会資料室 (資料室幹事 尾崎俊介)

☎: 0566-26-2547

e-mail: sozaki@aeu.ac.jp

2017年4月1日より編集室が下記に移転します。4月か

らはこちらに送付下さい。

☎466-8666

愛知県名古屋市中区八事本町101-2

中京大学国際英語学部森有礼研究室内

日本アメリカ文学会資料室

☎: 052-835-7111 (内線6216)

尚、本学会の機関誌である『アメリカ文学研究』及び『The Journal of the American Literature Society of Japan』には残部のある号がございます。バックナンバーを購入されたい方には、一部1,000円(送料無料)でお頒けしておりますので、上記資料室までご相談下さい。